

大会宣言

陸運業は、我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核として重要な役割を担っている。陸運業がその役割を果たしていく上で、そこで働く人々の安全と健康を確保していくことは必要不可欠である。

陸運業における労働災害は、会員事業者のたゆまぬ努力により、長期的に減少傾向にあり、また、昨年は、死亡災害が百二十五名で、前年に比べ、七名、五・三パーセントの減少となった。死傷災害についても、前年に比べ、三百二十五名、二・五パーセントの減少となり、平成二十二年から続いた五年連続の増加に歯止めがかかったところである。平成二十八年に入り、死亡災害は、着実に減少傾向を維持しているが、死傷災害は、横ばいであり、予断を許さない状況が続いている。

陸運業界は、人手不足、高齢化問題などの諸課題を抱え、依然として厳しい経営環境に置かれているが、我々は、人命尊重の理念の下に、労働災害の絶滅に向け積極的に取り組むとともに、健康で安心して働くことができる職場環境を実現することにより、企業並びに業界の発展に寄与することが強く求められている。

このため、本部、支部、会員事業者が一体となって、計画的かつ継続的な安全衛生活動を推進し、陸運業における労働災害の減少を図り、「労働災害防止五か年計画」の目標達成に向けて、荷役災害防止・交通労働災害防止への取組を一層強化していくことをここに決意し、

- 一 経営首脳が先頭に立った安全衛生活動の積極的な推進
 - 一 事業場の安全衛生水準の向上の取組の推進
 - 一 荷役運搬作業の安全の確保
 - 一 交通労働災害の防止
 - 一 健康の保持増進対策の推進
 - 一 安全衛生教育の徹底
 - 一 安全衛生意識の高揚
- を重点に、労働災害の根絶に向け、より一層努力を重ねていくことをここに誓う。
- 右、宣言する。

第五十二回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会

平成二十八年十一月十七日